

6 届出書類等の記載例

出店計画説明書

本章に示しております記載例及び記載要領は、標準的な店舗を想定して作成したものですから、これにより難しい場合などは事前にご相談ください。

〈記載例の見方〉

- ・様式に記載例と記載の際の要領を次のように示しています。
- 記載例 →ゴシック文字
- 記載要領 → 内

記載例 1 「出店計画説明書」

1 大規模小売店舗施設計画の概要

(1) 建物の名称及び所在地

- ・建物の名称は設置後予定している名称を記載してください。
- ・所在地は計画地の登記簿上の地番・筆数を記載してください。

(2) 変更事項

- ・変更前後の数値が確認できるように記載してください。

(3) 計画地の概要

①敷地面積及び土地の所有形態

建 物 敷 地	○, ○○○㎡ (うち建築面積○, ○○○㎡)	自己所有
駐 車 場 用 地	○, ○○○㎡	賃貸借契約 (予定)
合 計	㎡	

- ・敷地面積は合計面積とともに用途別に分けて記載してください。
- ・所有形態は、自己所有及び借地の区分をしてください。

②法令上の用途等

- ・都市計画
- ・地区計画
- ・まちづくり協定 等の有無及び概要を記入してください。

③現在の土地・建物の利用状況

- ・出店予定地の現在の土地及び建物の利用形態を記入してください。

(4) 計画地周辺の概要

①立地環境

- ・計画地の立地環境を具体的に記載してください。
(駅からの距離、隣接道路や商業地への立地か、住宅地への立地が分かるようにしてください)

②隣接地の用途状況

北側	
東側	
南側	
西側	

- ・計画地の周囲4方向の隣地(道路を隔てた隣地を含める)の用途状況を具体的に記載してください。

(5) 建物の構造及び規模

①建物構造及び規模

鉄骨造・鉄筋コンクリート造 地上〇階・地下〇階・棟屋〇階 等

・ 2以上の棟に分かれる場合はそれぞれについて記載してください。

②延べ床面積及び各階別床面積と用途

・ 小売店舗以外の施設の用途・面積を含めて記載してください。

③建築着工予定年月日及び完成予定年月日

・ 変更届の場合は、その変更に係る部分の工事について記載してください。

④図面

- ・ 広域見取図 ・ 周辺見取図 ・ 建物配置図
- ・ 各階平面図 ・ 立面図

・ 8「4添付図面」(p70)を参照してください。

2 営業計画の概要

(1) 開店予定年月日

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(2) 小売業者の氏名又は名称及び住所

	氏名(名称)	代表者氏名(法人の場合)	住 所
1	株式会社 〇〇	代表取締役 〇 〇 〇 〇	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
2	未 定		

(3) 主として販売する物品の種類

	氏名(名称)	主として販売する物品の種類
1	株式会社 〇〇	食料品
2	未 定	未 定

・ 「主として販売する物品」欄は、小売業を行う者ごとに「衣料品」、「食料品」及び「住・生活関連品」のうち、「総年間販売予定額」の70%を超える取扱品を記載してください。いずれの取扱品も70%を超えない場合は「総合」と記載してください。
・ 計画説明書作成時点で未定の分については、予定している物品の種類を記載してください(小売業者が決定次第、市に報告してください)。

(4) 開店時刻及び閉店時刻

	氏名(名称)	業種・業態	開店時刻	閉店時刻	店舗面積
1	株式会社 〇〇	食品スーパー	午前10時00分	午後9時00分	m ²
2	未 定	未 定	午前10時00分	午後9時00分	m ²

3 駐車場の計画

(1) 必要駐車収容台数の算出根拠

【指針により算出する場合】

	事 項 等	必要駐車台数等	各事項算出のための計算式等
店舗の 来客者	地区の区分	商業・その他地区	(理由：)
	S：店舗面積	千㎡	※6,981㎡→6.981千㎡
	A：店舗面積当たり日来店客数原単位	人/千㎡	
	B：ピーク率	14.4%	(ピーク： 〇〇時～〇〇時) (理由：)
	L：駅からの距離	m	(駅名： 〇〇線△△駅)
	C：自動車分担率	%	
	D：平均乗車人員	人/台	
	E：平均駐車時間係数		
	F：必要駐車台数	台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
その 他の 施設 等 の 利用 者	従業員通勤車両用	台	
	業務用車両用	台	
	搬出入車両用	台	
	併設施設の車両用	台	
	その他	台	
	G：その他の施設等必要駐車台数計	台	
必要駐車台数合計		台	F + G
届出収容台数合計		台	

注) 原則として、「必要駐車台数合計」の小数点第1位を切り上げて処理してください。

- ・年間の平均的な休祭日（平日の来客数が休祭日より多くなる場合は来客数が最大となる当該曜日。以下同じ。）における店舗の来客の自動車台数がピークとなる1時間について予想される必要駐車台数を算出してください。
- ・「B：ピーク率」の「ピーク」欄には、年間の平均的な休祭日における店舗の来客者がピークとなると想定される時間帯（1時間）を記載してください。また、「理由」欄にはその時間帯をピークと想定した理由を記載してください。（別紙でも結構です。）
- ・「L：駅からの距離」欄は、原則として、駅の最寄りの改札口から店舗の敷地を結んだ地図上の直線距離を記載してください。
- ・「その他の施設等の利用者」欄は届出書に記載した駐車場が店舗の来客者の車両と併設施設を始めとしたその他の施設等（遊園地等の屋外に設置された施設等も含む。）の利用者の車両とで共用されている場合であって、これらの車両の駐車部分が明確に区切られていない場合に記載してください。
- ・「併設施設用」として複数の併設施設がある場合は、用途や事業の種類ごとに根拠を示し、必要駐車台数を算出してください。ただし、併設施設の面積の合計が店舗面積の合計の2割を超えない場合、記載を省くことも可能です。

【特別の事情により指針以外の方法で算出する場合】

特別の事情の説明：	
算出根拠：	
必要駐車台数合計：	台
届出収容台数合計：	台

- ・既存の類似店舗における実績等を参考にして算出する場合には、原則として次の項目を明らかにして算出してください（可能な限り多くの店舗のデータを示してください）。
 - ①参考とした店舗名、所在地
 - ②参考とした店舗の概要（駐車台数、店舗面積、用途地域、所在市町村の人口、駅からの距離等）
 - ③参考とした理由（データ等に基づく具体的・合理的な理由を記載してください）
 - ④日来店客数（平日・休日）両数
 - ⑤休日における1時間ごとの来客数
 - ⑥自動車分担率
 - ⑦平均乗車人員
 - ⑧駐車場平均駐車時間
- * 可能であれば、参考とした店舗の周辺見取図と建物配置図を添付してください。
- ・既存の類似店舗とは、店舗面積その他の店舗の特性、立地する地区の特性その他の地域の事情に類似性があり、かつ、店舗の開店等の時期が近時である大規模小売店舗をいいます。
- ・他の方法で算出する場合にも、算出根拠として、上記の項目と同程度の項目を明らかにしてください。

(2) 駐車場の位置、出入口の数

	位 置	出入口の数			
No.		入口	箇所	／	出口 箇所
No.		入口	箇所	／	出口 箇所

(3) 駐車場収容台数

	普通車両	軽車両	身障者用	計
No.	台	台	台	台
No.	台	台	台	台
合計	台	台	台	台

(4) 駐車場を利用できる時間帯

	駐車場利用可能時間帯
No.	
No.	

(5) 年間の平均的な休祭日のピーク 1 時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

項目		予測来台数	予測来台数の算出根拠
店舗の来客車両		台	
その他の施設等の利用者等	従業員通勤車両	台	
	業務用車両	台	
	搬出入車両	台	
	併設施設の車両	台	
	その他	台	
予測来台数合計		台	—
駐車場入口	No.	台	
	No.	台	
	No.	台	
	No.	台	
	予測来台数合計	台	

- ・年間の平均的な休祭日における店舗の来客の自動車台数がピークとなる 1 時間について予想される自動車来台数を算出してください。
- ・「その他の施設等の利用者」欄は届出書に記載した駐車場入口が店舗の来客者の車両と併設施設を始めとしたその他の施設等（遊園地等の屋外に設置された施設等も含む。）の利用者の車両とで共用されている場合に記載してください。
- ・「併設施設」として複数の併設施設がある場合は、施設の用途や事業の種類ごとに根拠を示し、予測自動車来台数を算出してください。ただし、併設施設の面積の合計が、店舗面積の合計の 2 割を超えない場合、記載を省くことも可能です。
- ・「駐車場入口」の「予測来台数」欄は、届出に係る駐車場の入口ごとの予測来台数を記載し、「予測来台数の算出根拠」の欄に、その算出根拠を記載してください。（現状の交通量調査の結果を根拠として算出した場合は、その調査結果等の関連資料を添付してください。）
- ・上記の駐車場の入口ごとの「予測来台数の算出根拠」に従って、ピーク 1 時間の予測来台数を 8「4 添付図面」の「周辺見取図」（p70）の主要幹線道路から駐車場の入口に至る道路や主な交差点に記載してください。
- ・駐車場の出入口については、駐車場法（昭和 32 年法律第 106 号）に基づく構造及び設備の基準が適用される駐車場について、これを遵守することは当然ですが、同法の適用を受けない場合であっても、当該駐車場の出入口の位置は当該基準に則したものとする必要があります。

(6) 駐車場の入口の形式

①年間の平均的な休祭日のピーク1時間における駐車場の入口の入庫処理能力

駐車場	形式	発券ブースの形式	予測来台数	入庫処理能力
No.			台	台
No.			台	台
No.			台	台
No.			台	台
合計	—			

・「駐車場入口」の「予測来台数」欄は、(1)の「駐車場入口」の「予測来台数」を転記してください。

・「入庫処理能力」欄には、次の入庫処理能力算出のための計算式を記入してください。

【入庫処理能力】
 $\{60 \text{分} / (\text{メーカから提供される1台当たりの処理時間(分)} + \text{乗客の乗降時間等(分)})\}$
 (×発券ブース等の台数：1つの出入口で複数台設置されている場合)

・「メーカから提供される1台当たりの処理時間」を示す仕様書、パンフレットなどがあれば添付してください。

・上記の計算式では「入庫処理能力」を算出することができない方法で入庫処理を行う場合は、その方法にあわせて入庫処理能力を算出し、その根拠を記載してください。

②敷地内駐車待ちスペース

駐車場	駐車待ちスペース	必要な駐車待ちスペース	
No.	m	m	
No.	m	m	
No.	m	m	
No.	m	m	

・「必要な駐車待ちスペース」欄には、次の計算式を記入してください。

【必要な駐車待ちスペース】
 $(\text{当該入口1分当たりの来台数(台)} \times 1.6 - \text{当該入口の1分当たりの入庫処理可能台数(台)}) \times 6$ (m：平均車頭間隔)

(7) 駐車場の配置図

・次の項目を記載してください。(8「4添付図面」(p70)参照)

- 駐車場の位置
- 駐車場の自動車の出入口の位置
- 駐車待ちのスペースの位置
- 敷地内及び駐車場内における案内看板等の設置及び交通整理員の配置場所
- 敷地内及び駐車場内の入出庫車、自転車、歩行者等の導線
- 敷地内及び駐車場内の車路の位置及び幅員
- 敷地内及び駐車場内の歩行者用通路の位置
- 駐車マス区画線及び駐車マスの寸法
- その他必要な項目

4 駐輪場の計画

(1) 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場名称	構造	収容台数	面積
駐輪場	2段式	〇〇台	〇〇. 〇m ²
原動機付自転車駐輪場	平面式	〇〇台	〇〇. 〇m ²
合 計		〇〇台	〇〇. 〇m ²

(2) 従業員用駐輪場の収容台数

(3) 駐輪場配置図

<p>・次の項目を記載してください。(8「4添付図面」(p70)参照)</p> <p>駐輪場の位置 駐輪マス区画線 駐輪場への自転車及び原動機付自転車の経路及び出入口</p>

(4) 駐輪場の管理体制

項 目	具体的な内容
整理員等の配置	
営業時間外の管理等	

5 自動二輪等駐車場の計画

(1) 自動二輪等駐車場の収容台数及び面積

	収容台数	面 積
自動二輪等駐車場	台	m ²

(2) 自動二輪等駐車場の管理体制

項 目	具体的な内容
整理員等の配置	
営業時間外の管理等	

(3) 自動二輪等駐車場配置図

<p>・次の項目を記載してください。(8「4添付図面」(p70)参照)</p> <p>駐車場の位置 駐車場への自動二輪等の経路及び出入口</p>

6 経路の設定

(1) 現在の交通状況

調査年月日	
調査場所	
調査の委託先	
調査の方法	
調査結果	

- ・調査日時、天候も記載してください。
- ・案内経路の時間帯別通過交通量を計測してください（平日休日別）。
- ・計測場所は適切な交差点を設定し、その地点を周辺見取図に記載し、当該交差点全方向の通過交通量を普通車・大型車別に計測してください。
- ・経路上の交差点の信号現示

(2) 来客車両の予測

- ・案内経路の方向別時間別来客車両予測及び根拠を記載してください。

(3) 開店後の交通量予測

予測の方法	
予測の根拠	
予測結果	

- ・現在の交通量に来客車両数を加算することにより開店後の交通量を予測し、渋滞の発生見込みの推定と交差点飽和度の推定をしてください。

(4) 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

項目	具体的な内容
自動車の案内経路	別添「周辺見取図」のとおり
自動車の案内方法(例)	
案内板等の設置	設置場所：別添「周辺見取図」のとおり 方式等：
交通整理員の配置	配置場所：別添「周辺見取図」のとおり 人数、配置日時等：
チラシ等の配布	配布方法： 内容等：
その他	

- ・「自動車の案内方法」については、実施する内容に応じて適宜記載してください。
- ・案内板等の設置場所及び交通整理員の配置場所については、8「4添付図面」の「周辺見取図」(p70)にその予定場所を図示してください。
- ・案内板等ごとに、表示内容（指示方向等）を簡潔に上記図面に図示してください。

7 荷さばき施設の整備

(1) 荷さばき施設の面積

荷さばき施設			同時作業可能台数		待機スペースの有無	防音等の対応
No.	面積	構造	車両積載重量	台数		
	〇〇. 〇㎡	屋内	4 t	〇台	有/1台	無

- ・同時作業可能台数は車両の大きさ別に記載してください。
- ・待機スペース有の場合は待機可能台数も記載してください。

(2) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

午前〇〇時～午後〇〇時

(3) 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

No.	時間帯	荷さばき車両(台)			平均的な荷さばき処理時間	廃棄物処理車両(台)
		2 t	4 t	合計		
1	8:00~9:00				分	
	9:00~10:00					
	21:00~22:00					
2	8:00~9:00					
	9:00~10:00					
	20:00~21:00					
	合計					

- ・「時間帯」欄は届出に係る荷さばき施設ごとに、荷さばきを行うことができる時間帯を1時間ごとに区分してください。
- ・荷さばきを行う車両1台当たりの平均的な荷さばき処理時間(分)を記入してください。

(4) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数

(5) 荷さばき施設配置図

- ・次の項目を記載してください。(8「4添付図面」(p70)参照)
- 荷さばき施設の位置
- 搬入車両進入路
- 待機スペースの位置

8 騒音発生に対する対策

(1) 遮音壁の位置及び高さ等

遮音壁の位置	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ
別添「建物配置図」のとおり	m	mm

・ 8「4添付図面」の「建物配置図」(p71)に遮音壁の位置を図示してください。

(2) 荷さばき作業に関する騒音対策

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	
荷さばき作業の騒音対策	

・ 具体的な騒音対策の内容欄には「効率的な配送計画による作業時間の短縮」、「床面に緩衝素材を採用」、「作業車両のアイドリング禁止」、「作業員への騒音防止意識の徹底」等具体的な内容を記載してください。

(3) BGM等の営業宣伝活動の有無及び内容

活動の有無	使用時間帯	拡声器の数	位 置	具体的な騒音対策の内容
有	〇〇:〇〇 ~〇〇:〇〇			

(4) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機の稼働時間帯及び位置を示す図面

項 目	稼働時間帯	位 置
冷 却 塔	No. 1 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	別添「建物配置図」のとおり
	No. 2 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
	No. 3 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
室 外 機	No. 1 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
	No. 2 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
	No. 3 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
送 風 機	No. 1 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
	No. 2 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃
	No. 3 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	〃

(5) 付帯施設における騒音対策

項 目	具体的な騒音対策の内容
駐車場	
廃棄物収集作業等	

・ 具体的な騒音対策の内容欄には「床の段差解消」、「早朝・深夜における作業の回避」等具体的な内容を記載してください。

(6) 等価騒音レベルの予測

①等価騒音レベルの予測の結果

時間の区分	予測地点			予測と評価	
	位置 【○○図】	高さ (m)	用途地域	予測値 (dB)	基準値 (dB)
昼間 午前 6時 午後 10時	A				
	B				
	C				
	D				
夜間 午後 10時 午前 6時	a				
	b				
	c				
	d				

- ・当該店舗で小売業を行う者の営業時間帯（開店時刻～閉店時刻）以外の時間帯であっても、騒音の発生が見込まれる場合は、それらについても予測の対象としてください。
- ・予測地点を8「4添付図面」の「建物配置図」（p71）等に図示してください。
- ・「用途地域」は各予測地点に適用される都市計画法（昭和43年法律第100号）上の用途地域を記載してください。
- ・予測地点に適用される「基準値」は（別表）「1 騒音に係る環境基準」（p36）を参照してください。

②等価騒音レベルの予測の算出根拠

別添根拠資料のとおり

- ・根拠資料には概ね次のような事項を記載してください。
 - ①対象店舗及び周辺の住宅等の配置状況
 - ②対象店舗周辺の用途地域の指定状況及び騒音関係法令等の指定状況
 - ③予測・評価の手順
 - ④騒音発生源の基準距離における騒音レベル、騒音の継続時間、予測地点までの距離など予測計算に必要なデータ
 - * 定常騒音源については、カタログデータから引用した基準距離における騒音レベルの数値から予測を行ってください。
 - * 予測において実測値を用いる場合には、別途ご相談ください。
 - ⑤予測地点の考え方
 - ⑥予測計算の経過及びその結果 など
- ・予測の具体的な計算手法については、「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」（平成12年9月 通商産業省産業政策局流通産業課）を参考としてください。

(7) 夜間における騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測

①騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果

騒音発生源	予測地点			予測と評価	
	位置 【○○図】	高さ (m)	用途地域	予測値 (dB)	基準値 (dB)
定常騒音	冷却塔				
	室外機				
	給排気口				
	その他				
変動騒音	自動車走行				
	荷さばきアイトリング				
	荷さばき後進警告ブザー				
	廃棄物収集作業				
	BGM等				
衝撃騒音	その他				
	荷さばき荷下ろし				
	荷さばき台車走行				

- ・午後11時から午前6時の時間帯（予測時間帯）において騒音の発生が見込まれる場合に記載してください。
- ・当該店舗で小売業を行う者の営業時間帯（開店時刻～閉店時刻）が予測時間帯にかからない場合であっても、予測時間帯に騒音の発生が見込まれる場合は記載してください。
- ・「騒音発生源」欄は発生が見込まれる騒音源ごとに記載してください。（一体として運用される機器等が近接して配置されている場合には、一の騒音源となる場合がありますので注意してください。）
- ・予測地点を8「4添付図面」の「建物配置図」（p71）等に図示してください。
- ・「用途地域」は各予測地点に適用される都市計画法上の用途地域を記載してください。
- ・予測地点に適用される「基準値」は（別表）「2 騒音規制法における夜間の規制基準」（p36）を参照してください。

②騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の算出根拠

別添根拠資料のとおり

- ・根拠資料には概ね次のような事項を記載してください。
 - ①対象店舗及び周辺の住宅等の配置状況
 - ②対象店舗周辺の用途地域の指定状況及び騒音関係法令等の指定状況
 - ③予測・評価の手順
 - ④騒音発生源の基準距離における騒音レベル、予測地点までの距離など予測計算に必要なデータ
 - *予測において実測値を用いる場合には、別途ご相談ください。
 - ⑤予測計算の経過及びその結果 など
- ・等価騒音レベルの予測の根拠資料と別冊とする必要はなく、内容的に共通する部分は記載を省略することも可能です。
- ・予測の具体的な計算手法については、「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」（平成12年9月 通商産業省産業政策局流通産業課）を参考としてください。

(別表)

1 騒音に係る環境基準

用途地域	地域の類型	基準値	
		昼間	夜間
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	A	55 dB 以下	45 dB 以下
第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 その他の地域	B		
近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	C	60 dB 以下	50 dB 以下

(注) 1 時間の区分は、昼間を午前6時から午後10時までの間とし、夜間を午後10時から翌日の午前6時までの間とする。

2 「その他の地域」とは、都市計画法の用途地域として定められた区域以外の地域をいう。

3 地域の当てはめは、「環境基本法に基づく騒音に係る環境基準の地域の類型を当てはめる地域として知事が指定する地域」(平成11年神奈川県告示第312号)に基づく。

2 特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準における夜間の規制基準

用途地域	基準値
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	40 dB
第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 その他の地域	45 dB
近隣商業地域 商業地域 準工業地域	50 dB
工業地域	55 dB

(注) 1 夜間とは午後11時から翌日の午前6時までの間とする。

2 「その他の地域」とは、都市計画法の用途地域として定められた区域以外の地域をいう。

3 地域の当てはめは、「環境基本法に基づく騒音に係る環境基準の地域の類型を当てはめる地域として知事が指定する地域」(平成11年神奈川県告示第312号)に基づく。

9 廃棄物等の保管施設の計画

(1) 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

【指針により算出する場合】

		算 出 根 拠 等				必要保管容量	
店 舗	廃棄物種別	S 店 舗 面 積		A 1日当たりの廃棄物等の 排出予測量 (指針原単位×S)	B 平均 保管 日数	C 見かけ比重 (t/m ³)	A×B÷C (m ³)
	紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	千m ²	(t)	日		
		6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
				計 t			
	金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	千m ²	(t)	日		
		6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
				計 t			
	ガラス製廃 棄物等	6,000 m ² 以下の部分	千m ²	(t)	日		
		6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
				計 t			
	プラスチッ ク製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	千m ²	(t)	日		
		6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
				計 t			
	生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	千m ²	(t)	日		
6,000 m ² 超の部分		千m ²	(t)				
			計 t				
その他の可燃性 廃棄物等	-	千m ²	t	日			
リサイクル 関連	算 出 根 拠					必要保管容量	
D : 小 売 店 舗 必 要 保 管 容 量 計							
そ の 他 の 施 設 等	施 設	算 出 根 拠				必要保管容量	
	E : そ の 他 の 施 設 等 必 要 保 管 容 量 計						
必 要 保 管 容 量 合 計 (D + E)							
届 出 保 管 容 量 合 計							

- ・「店舗」の「リサイクル関連」欄は、リサイクル等の推進に関連する法令等に基づいて、廃棄物等の回収・保管を行う場合に必要となる保管容量及びその算出根拠を記載してください。ただし、新聞紙やチラシ等を束ねてリサイクル用として運搬する場合は「紙製廃棄物等」に、リサイクル可能なアルミ製・スチール製の缶等については「金属性廃棄物等」に、ガラス製の容器等については「ガラス製廃棄物等」に、飲料容器等については「プラスチック製廃棄物等」に、紙屑等は「その他の可燃性廃棄物等」に記載してください。
- ・「その他の施設等」の欄は、店舗から排出される廃棄物等と、レストランやオフィスなど併設施設（遊園地等の屋外に設置された施設等も含む。）から排出される廃棄物等を同一の保管場所に保管する場合であって、これらの廃棄物等の保管部分が明確に区切られていない場合に記載してください。

〔「C 見かけ比重」について指針の数値によらず算出した場合〕

計算に用いた見かけ比重とその根拠：

--

【指針以外の方法で算出する場合】

理由：	
算出根拠：	
必要保管容量合計：	m ³
届出保管容量合計：	m ³

(2) 廃棄物等の保管施設の位置

- ・ 次の項目を記載してください。(8「4 添付図面」(p70) 参照)
 廃棄物等の保管施設の位置、一般廃棄物の保管施設、リサイクル品のストックヤード
- ・ それぞれの寸法も記載してください。

(3) 廃棄物等の運搬・処理計画

① 廃棄物等の運搬方法

廃棄物等の種類	運搬方法	予定業者	運搬頻度	運搬時間帯
	自社・業者・その他			
			1回/1日	10:00~15:00

② 廃棄物等の処理方法

廃棄物の種類	処理方法		
	自社・業者・その他	予定業者	処理方法

③ 食品加工場の設置及び運営計画

施設面積	
配 置	
作業内容	
環境対策内容 (悪臭・汚水対策等)	

(4) 廃棄物減量化及びリサイクル等に関する配慮事項

10 街並みづくり等への配慮に関する事項

(1) 街並みづくり等への配慮事項

(2) 緑化計画の内容

敷地面積	緑化する土地の面積	緑化の方法
m ²	m ²	

・緑地帯の位置を8「4添付図面」の「建物配置図」(p71)等に図示してください。

(3) 景観への配慮

・具体的な内容を記載してください。
・建物完成予想の着色図を8「4添付図面」の「立面図」(p72)等に図示してください。

(4) 屋外照明・広告塔照明の計画と光害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置		
照明灯の方向		
照明の照度		
点灯時間		
光害対策		

・屋外照明・屋外広告照明の位置を8「4添付図面」の「建物配置図」(p71)等に図示してください。

(5) その他周辺地域の生活環境への配慮に係る特記事項

記載例：添付書類目次

添付書類 目次

1. 法人にあってはその登記事項証明書
別添のとおり
2. 主として販売する物品の種類
別添「大規模小売店舗出店計画説明書」2ページ2（3）のとおり
3. 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
別添「大規模小売店舗出店計画説明書」図3のとおり
4. 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠
〇〇のとおり
5. 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項
〇〇のとおり
6. 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法
〇〇のとおり
7. 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯
〇〇のとおり
8. 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面
〇〇のとおり
9. 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面
〇〇のとおり
10. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠
〇〇のとおり
11. 夜間において大規模小売店舗の運営に伴い騒音が見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠
〇〇のとおり
12. 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
〇〇のとおり